



新宿山吹だよりは、保護者の皆さんにも読んでもらって下さい。

「郵便配達と雨の日の水やり」

校長 永浜 裕之

最近経験した出来事を2つ、お話しします。

ある朝、私は、手紙を出そうとポストへ向かいました。ポストの前には、郵便配達の赤いバイクが止まっています。朝一番の集配は8時30分のはずです。まだ時間前なのに何かあったのかなと考えながら近づくと、年配の男性が私の封書を受け取りながら、「集配時間より前に着いてしまい、手紙を出しに来る人を待っているのですよ」と言いました。

私は、「寒いのご苦労様です。」と言いながら、「良心的だなあ」と思いました。5分待っても、集配時間に合わせて手紙を出しに来る人がいるか分からない。また、5分早く集めても、一般の人にはわからない。このような人たちが、郵便事業の影の力になっているのだなあと感じました。

最近、企業の倫理に関する話題が報道されることがあります。「儲けることに一生懸命で、お客さんのことを本当に考えているのか疑わしい」という指摘です。

そのようなことと、私が経験したような、郵便物の集配に関することが同時に起こることに、人間の世界の複雑さ、奥深さを感じます。

皆さんは、この郵便集配の人の仕事に対する誠実さ、真面目さを感じるかもしれませんが、私は、「自らの仕事に対する「すごみ」」を感じました。

「情けは他人のためならず」という諺があります。

この諺の真意は、「情けをかけて甘やかすとよくない」ということではなく、「情けをかけるという行為は、巡り巡って、結局は自分のためになる」ということで、よく、意味の取り違えの例に取り上げられますが、もしかしたら、この郵便集配人が寒い朝、待っていたのは、お客さんのためだけではなく、自らの仕事に対する姿勢のためだったのかもしれない。

仕事への取組姿勢が、真面目に、誠実というレベルだけでは、まだ本物ではないような気がします。その先に、自分がこの世の中に存在している意味をかけた烈しさ、言い換えれば、意地とかプライドとかという言葉になるのかもしれませんが、それが必要であり、様々な分野の一流と言われる人たちには、その烈しさがあるような気がします。

次に、ある特別支援学校に出張したときに聞いた話です。

A君は、16歳になっていましたが、知的年齢は3歳位だそうです。しかし、自分のことは何でもできるようになったので、先生はA君に、「花に水をやる当番」をまかせました。「このジョウロの水は、お花の大切なご飯だから、毎日忘れずにやってね。」と、繰り返し教えました。

ある夏の大雨の日、ザーザー降りの中、傘をさしてA君が水をやっている姿を見つけ、「こんな日には」と言おうと思って近づいたのですが、先生は言葉を飲み込みます。なぜなら、その先生は、「A君にとっては、先生から言われたとおりに自分がやる水と、大雨とは関係がないんだ」と気付いたからです。

じっと見ていると、一本一本の花に、「ごはん持ってきたよ。さあ、食べて。」と、声をかけながら、ずぶ濡れになって、一生懸命、水をやっているその姿に、A君の美しさがキラキラと輝いていたという話です。

私は、A君の優しさや、微笑ましい様子に、心を温かくしましたが、この話が問いかけているものは何かと考えました。この話は、日頃、私たちが忘れがちである、深い何かを問いかけている気がします。私たちは、少しばかりの知識を持っているかもしれませんが、A君の持っている、根源的な優しさや思いやりを置き忘れてしまっていることが多いのではないかと感じました。

以上、2つの話を書きましたが、生徒諸君も、「仕事とは何か」、「生きるということとは何か」を考えてほしいと思います。また、「哲学的に考える」習慣を、高校生のうちに身に付けてほしいとも思っています。

教員向け「ICTショールーム」の開設について

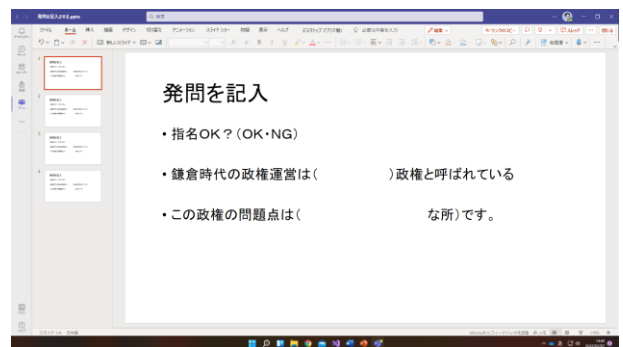
教諭 中山 享司

令和4年度から、新入生は一人一台ICT端末を購入することになりました。私は、ICT端末を活用することで生徒の学力を向上させたいと考えています。準備が整い次第、2月18日（金）から317教室を会場として、原則毎週金曜日の7・8限（15時20分から16時50分まで）と9・10限（17時20分から18時50分まで）に「ICTショールーム」を開設します。

「ICTショールーム」は、一人一台ICT端末が配備された際に、どのように教育活動で活用していくのかを提案する取組です。ポイントは、使い方（操作）の研修をするのではなく、どのように使用するかという完成図をお見せし、先生方に活用の提案をすることです。このことにより、具体的なイメージを持って頂くとともに、「このような使い方のものできるのでは？」と、一人一台端末を主体的に活用する気持ちを先生方に持って頂ければと考えております。また、先生方から新たな提案も頂き、その提案を共有する取組も考えております。**教員向けの取組ですが、生徒の皆さんにもご覧いただき、皆さんのアイデアも取り入れていきたいと考えております。**お待ちしております。以下に、現在、考えている内容を3点紹介します。

1 発問での活用

生徒は、発言しても間違っていたら恥ずかしくしたり、発言したいけれどもみんな黙っているから手を挙げることを躊躇しているのではないかと考えました。そこで挙手をしなくても意見を表明し、正解していたら先生に紹介してもらおうようなやり方を考えました。まず、先生が生徒の意見を聞きたいことをスライドにします（右図参照）。次に、パワーポイントのスライドをteamsで共有し、スライド番号を生徒にそれぞれ割り当てます。（君は1番のスライド。あなたは2番のスライド・・・のように割り振る）生徒は割り当てられたスライドに意見を記入し、先生が意見を拾うというやり方です。プロジェクトタの表示を一時的に消せば、記入中の生徒の意見が投影されることもありません。

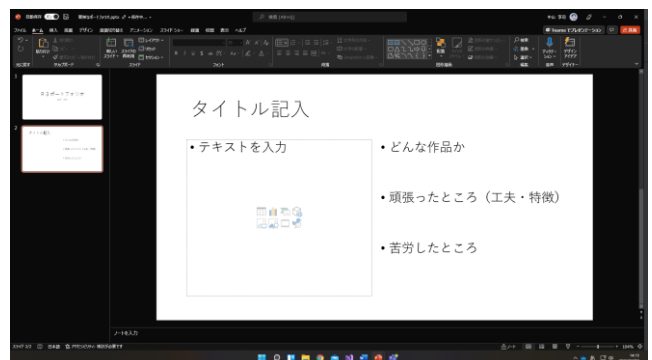


2 教材のプロジェクトタへの提示

既に活用している先生も多数いらっしゃると思いますが、生徒にスライドを提示する方法を改めてご紹介します。ご存じかと思いますが、図や画像、映像をふんだんに見せることにより、生徒は学習内容のイメージが沸き、分かりやすい授業につながります。ここでは見やすい文字の大きさや色などを、端末を操作して検討できるよう、端末を自由に操作していただけるようにしています。生徒に分かりやすい授業の実施につながれば幸いです。

3 ポートフォリオにチャレンジ

生徒にポートフォリオを作成させてみてはどうかという提案です。作り方は、レイアウトの「2つのコンテンツ」を使います。片面には、「どんな作品か」「頑張ったところ（工夫・特徴）」「苦労したところ」を記入させます。これを書かせることにより、取り組んできたことや、学んできたことが明らかになります。ポートフォリオを作成・蓄積させることで、生徒は過去の自分と現在の自分を見ることが出来ますので、自身の成長や課題を実感することができるだろうと考えております。さらに「今後どうしていきたいのか」を聞き、先生の指導で未来を考えさせてみてはどうかと考えております。



定時制課程 学校行事予定

2月9日（水）期末考査時間割発表
11日（金）建国記念の日
16日（水）後期期末考査
17日（木）午前中授業（午後、入学者選抜準備）
18日（金）2学年相当以上入学者選抜
21日（月）1学年相当入学者選抜
22日（火）休業日（入選採点）
23日（水）天皇誕生日（入選採点）
24日（木）～3月1日（火）後期期末考査
3月2日（水）追試・補習
3日（木）答案返却・LHR
4日（金）履修個別指導、補習・補講
5日（土）新入生履修説明会

通信制課程 学校行事予定

2月5日（土）後期試験②
11日（金）建国記念の日
12日（土）後期試験（重複等変更日）
23日（水）天皇誕生日（定時制、入選採点）
26日（土）生徒相談日
3月5日（土）生徒相談日
9日（水）単位認定通知
19日（土）生徒相談日
21日（月）春分の日
24日（木）卒業式

